

# 流山市役所訪問メモ

大堀川の水辺をきれいにする会

訪問日時 平成14年10月11日(金) AM10:00~11:30  
出席者  
市側 環境保全課 渋谷課長、田村、鈴木氏  
土木部下水道計画課 吉岡課長、土木部河川課 片桐課長代理  
当会側 寺尾代表、小林(敏枝)、青木、加藤、河井、最上、蓮見、  
田口、鈴木、高田(順不同)



## (1) 現状説明及び質疑

- ・平成7年流山市が水質汚濁法?に基づく指定都市に指定され現在河川に対して調査中である。
- ・大堀川への流入水の70%は家庭からの雑排水である。

(湧水はほとんど無い)

- ・大堀川流域人口は23,700人、流域面積は578ヘクタール  
(内9700人分は公共下水道利用、残りが大堀川へ直接排水)

(推)  $14,000 \text{人} * 0.35 \text{m}^3 / \text{人} \cdot \text{日} = 4,900 \text{m}^3 / \text{日}$  程度の家庭雑排水が流入していることになる。

- ・現在3箇所でレキ間浄化実施中であり、水質も改善されつつある。今後も整備が必要と考える。(但し、江戸川、坂川については水質浄化の計画が有るが、大堀川については新たな直接浄化の計画は無い)

- 川にレキを敷き詰めるだけでバッキはしていない。

(雨水と下水が同一水路を流れる合流方式、従って降雨時は下水も一緒に流出する)

- 計画処理量は・駒木台 (北総病院そば):  $1,152 \text{m}^3 / \text{日}$   
・駒木第一 (初石病院そば):  $1,100 \text{m}^3 / \text{日}$

・駒木第二 : 750m<sup>3</sup>/日 合計 3,002m<sup>3</sup>/日  
(COD? : 18~23 が 11~17 に改善した例あり)  
(私見) 約 5,000m<sup>3</sup>/日の内 3,000m<sup>3</sup>/日程度処理していることになるが、  
川にレキを敷き詰めるだけの方法では効果と寿命(数年で詰まる)疑問あり。

- ・この地域は調整区域が多く、その為に下水道計画対象になっていないので、この区域の取り組みが今後の課題である。
- ・防災調整池などについては、住宅都市整備公団、県企業庁(都市河川課?)に聞いてほしい。
- 防災調整池に植生浄化適用するよう市と公団、企業庁と調整中
- ・啓蒙活動について
- チラシの配布、環境フォーラム : 1回/年(8月実施)
- 市民団体としては「流山・水と緑の探偵団」など幾つかある。

## (2) 今後の進め方。

- ・「流山・水と緑の探偵団」との連絡 : 小林敏枝さんが日下部流山市議員を通じて連絡をとる。
- ・(県)東葛土木(及び公団)とのコンタクト : 寺尾さんが連絡をとる。
- ・源流再調査(水質など含め) : 採水した水を正確に計ってくれる所を捜す。  
柏市/流山市の関係部署  
東京理科大研究室 : 河井さんが連絡をとる。



## (3) 感想

[高田]

- ・何処の自治体も同様であるが、住民対策、県への報告などのため申し訳程度の浄化対策を実施しているのが現状であり、抜本対策は(市の財政から)出来ていないのが実状。
- ・これからは、県、公団レベルを動かさないと浄化の話は進まないのではと思う。

[ 青木 ]

1. これまで、手賀沼の水源という課題に対し、流山市を含めて関連各自治体では、ごく一般的、形式的な対応しかしてこなかったように感じざるを得ない。
2. 水源問題は下水道を整備すれば解決できるわけではなく、合併浄化槽の整備、地域での浄化施設の活用、水路での植生を含めた自然浄化能力の強化などの必要性が改めて認識された。

また私見ですが、水源問題は今回の打ち合わせでもその一端が明らかになったように、相当幅広い見地からの検討が必要であり、「水と緑の探偵団」などとの交流を通じて、いずれ市民と行政と専門家を含めた水源問題研究会みたいなものを作って、掘り下げた活動を進めていく必要があるのではないかと感じています。

[ 鈴木 ]

- ・流山市には大堀川の水質を今よくしないといけない とは感じていないように感じられた。
- ・利根川の水のおかげで日本一でなくなったので、よかったよかったで終わっているように思われる。いまさら何をしなければいけないというのか と言う思いは流山市だけではないのではないのでしょうか。
- ・寺尾代表の言うように 関係している民間団体との連携を密にして、自分たちとお上との意識改革をすすめていくことではないか と思います。行政に言っても、この前の流山三手 タイに色々説明はしてくれるけど、結局よくわからないし、現状を変える必要を認めない と言うようなことにあしらわれてしまうのが落ちではないのでしょうか。

[ 河井 ]

流山市は単に年 1、2 回のありきたりの啓発パンフレットでお茶を濁してあとは公団にゲタを預けたような姿勢で全く問題認識が見られない、と感じました。市民の無関心がそうさせているのだと思います。

行政は、いや政治は、と言い換えてもいいかもしれませんが、民の声が大きければそれになびいて動くものでしょう。

先進的な、或いは世の中を良きにつけ悪きにつけ先導的な役割を行政に期待したり、担って貰うことは必ずしもいいとはいえないと思います。

何が先進的か、何が善政で何が悪政かそういうことは私達が考えて訴え、投票し、それを反映して行政や政治が動くものだと思います。

その意味で市民の声が小さいが為に行政は動かないのだと見ています。

だから私達はもっと多くの声を集めねばならない、と考えます。

そういうことから考えて青木さんのいう流山の市民運動と連携することは大賛成です。

作成 高田